



平成 26 年 6 月 20 日
ストラスブール研究連絡センター

フランス高等教育研究省(MESR)

●「南コーカサス:科学とフランス語圏のパートナー」

ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ 高等教育・研究担当大臣は、フランス大統領の南コーカサスのアゼルバイジャン共和国、アルメニア共和国、グルジア共和国訪問に同行した。今回の訪問で、フィオラゾ大臣は、科学交流と学生のモビリティの促進、フランス語圏の活性化を目的とした。

アゼルバイジャン共和国の首都バクーでは、フィオラゾ大臣は、大学・研究協力の強化とより多くのアゼルバイジャンの学生をフランスに受け入れることに関する意向表明書に署名した。また、CNRS (フランス国立科学研究センター)と同国科学開発財団との間で行われた、考古学、地理学、人文社会科学分野における協定署名式を主催した。

アルメニア共和国の首都エレバンでは、アルメニアにおけるフランスの大学に留学し卒業した学生生の就職状況が非常に良いことを称えた。

グルジア共和国の首都トビリシでは、地球科学における国際研究グループ(GDRI)の更新署名式を主宰し、CNRS とコーカサスのパートナーが署名した。

・フランス高等教育研究省“Le Caucase du sud : un partenaire pour la science et la francophonie”
(2014 年 5 月 12 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid79277/le-caucase-du-sud-un-partenaire-pour-la-science-et-la-francophonie.html>

●「クレティユ・アカデミーの ESPE 訪問」

2014 年 5 月 16 日、ブノワ・アモン国民教育・高等教育・研究大臣とジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ 高等教育・研究担当大臣は、クレティユ・アカデミーの ESPE (教員養成・教員教育高等教育機関)を訪問した。両大臣は、修士 2 年の学生のセッションと、校長のセッションを見学し、引き続いて教員養成に関するラウンドテーブルに参加した。

・フランス高等教育研究省“Déplacement à l'ESPE de l'Académie de Créteil” (2014 年 5 月 16 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid79527/deplacement-a-l-espe-de-l-academie-de-creteil.html>

●「KETsに関する欧州サミットの開催」

2014年5月19日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣は、グルノーブルのMINATEC キャンパスで、「KETsと欧州産業のルネッサンス。企業家にとってどんな機会？」というテーマで開催されたKETs (Key Enabling Technologies)に関する欧州サミットの開会式で意見を述べた。概要は以下の通り。

今回、欧州の非産業化とKETsに関する研究による産業活性化政策の支援問題について考える。基礎研究があらゆる発展の源であることは言うまでもないが、実際のサービスや製品開発に直結するテクノロジー研究の発展が必要なことも事実だ。

フランスを含む欧州は、ここ数年、特に製造業分野における深刻な空洞化に直面している。しかし、マイクロ・ナノエレクトロニクス、ナノテクノロジー、フォトニクス、バイオテクノロジー、先端材料、先進製造工程の研究のおかげで、フランスと欧州の空洞化問題に対応し、研究・イノベーション・産業分野の国際競争力の強化が可能になるだろう。KETsに関する研究では、技術研究、開発、高付加価値製造業を3本柱にしている。

欧州委員会は、欧州の空洞化問題への取り組みでは、産業の優先を Horizon 2020 研究プログラムの大目標に掲げることで、先導的役割を担っている。そのうちKETsには60億ユーロの予算が見込まれている。

これらの取り組みを通して、産業の回復及びテクノロジーと産業分野の研究関連産業の求心力の強化に努める。

・フランス高等教育研究省 “Ouverture du sommet européen sur les KETs” (2014年5月19日)
<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid79559/ouverture-du-sommet-europeen-sur-les-kets.html>

●「ブリュッセルの競争力会議」

2014年5月26日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣は、ブリュッセルに赴き、高等教育・研究・宇宙担当の欧州対応機関代表者と共に、競争力会議に参加し、欧州の将来に向けて戦略的プロジェクトを推進する意思を再表明した。本会議では、宇宙政策、ESFRI (研究インフラのための欧州戦略的フォーラム) のロードマップ発効、科学・テクノロジー・イノベーションにおける欧州-地中海パートナー協定について協議された。

研究インフラ政策に関して、E.S.S. (European Spallation Source、プロトン線形加速器によるスパレーション中性子源)、ELIXIR (European Life Sciences Infrastructure for Biological Information、欧州生物学情報持続的インフラ)、EPOS (European Plate Observing System、地球内部のダイナミクス・構造研究のための欧州インフラ) の3インフラを、次回のインフラに関するプロジェクト公募の焦点とすることを決定した。

会議外では、フィオラゾ大臣は、イタリアのStefania Giannini 教育・高等教育・研究大臣と仏伊大学関連プロトコル(UFI)に署名した。

・フランス高等教育研究省 “Conseil Compétitivité à Bruxelles : préparer l'avenir” (2014年5月27日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid79840/conseil-competitivite-a-bruxelles-preparer-l-avenir.html>

●「世界的な課題に直面した、G8+5 研究大臣の作業セミナー」

2014年5月30日-6月1日の3日間、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣は、オックスフォード近郊で行われた G8+5 研究担当大臣年次作業セミナーに参加した。本会議には、南アフリカ、ドイツ、ブラジル、カナダ、米国、フランス、イタリア、日本、メキシコ、英国の大臣と、欧州連合研究委員が参加し、高等教育と研究に関する問題について、意見交換を行った。

テーマとしては、研究と教育の進捗に関する参加各国がかかえる一般的话题、抗生物質耐性菌問題、国際的な大規模研究設備、持続的・安全・利用可能なエネルギー政策、今年度の行動計画とまとめ、が取り上げられた。その他、科学データの相補、ビッグデータの管理、エネルギー蓄積と CO₂ 回収に関する研究での協力促進、科学の発展における「市民-利用者-参加者」協同組織に関する共通考察、デジタル社会の準備とより頻繁な意見交換を伴った協力体制の強化、持続可能で繋がった社会に関する方針も定められた。

・フランス高等教育研究省“Séminaire de travail pour les ministres de la recherche du G8+5 face aux grands enjeux mondiaux” (2014年6月2日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid79958/seminaire-de-travail-pour-les-ministres-de-la-recherche-du-g8-5-face-aux-grands-enjeux-mondiaux.html>

●「フランスの大学における経済学の将来に関する報告書を提出」

2014年6月5日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣は、Pierre-Cyrille Hautcoeur EHESS (社会科学高等研究院) 校長から、「フランスの大学における経済学の将来」に関する報告書を受け取った。本報告書作成は、2013年7月23日に Hautcoeur 氏に委託されていた。

本報告書は、経済学関連の現状を分析することを目的に、以下の4大テーマから構成される、20の提案が盛り込まれている。

- 1) 教育: 学生が進路決定しやすいように、より前進的な専門化とより幅広く学際的な学士号の必要性を強調。
- 2) 職業倫理や公開性など、特に評価方法において、革新的かつ国際的な開かれた研究を提案。
- 3) 採用、サービス、給与、教育活動の価値付け、昇進に関する教員-研究員のキャリア管理。
- 4) 詳細で、透明性のある経済学関連分野の情報と、進歩に関する共同考察の推奨。

フィオラゾ大臣は、本報告書を公開することを決定し、報告書中の提案を慎重に検討するとした。

・フランス高等教育研究省“Remise du rapport sur l'avenir des sciences économiques à l'université en

France” (2014年6月5日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid80111/remise-du-rapport-sur-l-avenir-des-science-s-economiques-a-l-universite-en-france.html>

フランス国立科学研究センター(CNRS)

●「Philippe Baptiste 氏、CNRS 科学担当副会長に指名」

2014年6月2日、Alain Fuchs CNRS 会長により、Philippe Baptiste 氏が CNRS 科学担当副会長に指名された。氏は、会長付特別顧問に就任した Joël Bertrand 氏の後任者となる。Baptiste 氏は、2013年4月から、高等教育研究省のイノベーション研究戦略局長を務めていた。

・CNRS “Philippe Baptiste est nommé directeur général délégué à la science du CNRS” (2014年6月2日)

<http://www2.cnrs.fr/presse/communiqu/3581.htm>

●「CNRS、シンガポールと東南アジアでの配置体制を強化」

2014年5月30日、シンガポールで、2件の新国際混成ユニット(UMI)の創設と UMI CINTRA の更新に関する署名式が行われた。CNRS の代表者と現地パートナー大学(シンガポール国立大学と南洋理工大学)の責任者が出席した。2件の新 UMI は、メカノバイオロジー分野と、グラフェン・気体・量子情報物理学分野で創設され、フランスとシンガポールのダイナミックな科学パートナーシップを強化する。来夏に、CNRS の東南アジアオフィスが現在のベトナムからシンガポールへと移転することにも、本コラボレーションの強化の意向が現れている。

・CNRS “Le CNRS renforce son dispositif à Singapour et en Asie du Sud-Est ” (2014年6月2日)

<http://www2.cnrs.fr/presse/communiqu/3583.htm>

フランス国立研究機構(ANR)

●「神経変性疾患に関する欧州作業グループの募集」

神経変性疾患研究分野における既存の研究ユニットの利用改善を目標に掲げ、ANR は他のパートナー機関と連携して、作業グループの募集を開始した。本募集は、同テーマに関する欧州共同プログラム、JPND の一環として取り込まれる。

採用されたグループには、最長 6 ヶ月間、最大 5 万ユーロが支給される。書類提出締め切りは 2014年6月17日。

・ANR “Ouverture d’un appel à groupes de travail européens sur les maladies neurodégénératives ”

(2014年5月15日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/ouverture-dun-appel-a-groupes-de-travail-europeens-sur-les-maladies-neurodegeneratives/>

●「Samsung 社の『グローバル・リサーチ・アウトリーチ』募集」

Samsung 社が毎年募集している「グローバル・リサーチ・アウトリーチ (GRO)」研究プログラムは、Samsung 社の研究分野において、大学研究と緊密なコラボレーションを図る目的で、世界的に著名な大学や学校を対象に行われている。

採用された研究計画には、年間 10 万 US ドルが支給され、成果と Samsung 社のニーズ次第では、3 年間の延長が可能。応募締め切りは 2014 年 6 月 13 日。

・ANR “ Appel annuel "Global Research Outreach" de Samsung ”(2014年5月21日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/appel-annuel-global-research-outreach-de-samsung/>

フランス国立情報学自動制御研究所 (INRIA)

●「Leslie Lamport 氏、2013 年チューリング賞受賞」

「情報科学のノーベル賞」とも言われている、Association for Computing Machinery (ACM) のチューリング賞 2013 が、Inria-Microsoft Research 共同ラボの研究者、Leslie Lamport 氏に授与された。氏は、1つのコンピュータに複数のプログラムを対立させることなく作動させる、また、1つのネットワークで複数のコンピュータを協調させる、といった、分散コンピューティングと呼ばれる問題に長年取り組んできた。

本賞の授賞式は 2014 年 6 月 21 日に、米国のサンフランシスコで行われる。

・INRA “Leslie Lamport : un pionnier de l'informatique distribuée”(2014年6月3日)

<http://www.inria.fr/actualite/actualites-inria/leslie-lamport-un-pionnier-de-l-informatique>

●「Yves Robert 氏、IEEE TCSC 賞を受賞」

高性能計算 (HPC) 分野の研究者に贈られる、IEEE TCSC 賞が、ENS リヨン情報科学研究所の正教授、Yves Robert 氏に授与されることになった。氏は、アルゴリズムに関する研究を長年行ってきており、リソースの最適化と高性能計算プラットフォームのレジリエント・コンピューティングを専門としている。今回の氏の受賞は、欧州人初の本賞の受賞でもある。

・INRA “Yves Robert reçoit le prix IEEE TCSC pour ses travaux sur le calcul haute performance”(2014年6月6日)

フランス各紙

●フランスの就職事情

Universum が 2013 年 11 月から 2014 年 2 月に、グランゼコール新卒予定者 36,762 人(114 校)に行ったアンケート調査の結果で、Le Monde 紙が 2014 年 4 月 2 日に発表したものである。回答した 36,762 人のグランゼコールの学生の内訳は平均年齢 21.7 で、54%が男子学生、46%が女子学生であった。

設問項目を設けて 130 社の中から希望のトップ 5 社を挙げてもらったが、リストにない会社も挙げるができるようにした。ここからも、毎年、新しい企業がリストに入り、入れ替わりがあることが見てとれる。

* 企業名に続く数値は全体の何パーセントの学生が希望したかであり、()内の記号は、-は前年と順位変わらず、↑は順位上昇、↓は順位下降を示す。

経済商業系の人気就職先

- 1 LVMH(ルイ・ヴィトン・モエ・エ・シャンドン・ヘネシー)25.17% (-)
- 2 L'Oréal Group(ロレアル)18.78% (-)
- 3 Google(グーグル)17.14% (-)
- 4 Apple(アップル)13.76% (-)
- 5 Canal+(チャンネルプラス)11.78% (-)
- 6 CocaCola(コカコーラ)10.02% (↑)
- 7 Nestlé(ネスレ)9.77%
- 8 Danone(ダノン)9.65% (↓)
- 9 Air France(エールフランス)9.15% (-)
- 10 Ernst & Young*(アーnst&ヤング会計事務所)7.67% (-)
- 11 BMW France(BMW フランス)6.94% (↑)
- 12 EADS**(ウ・アー・デ・エス)6.9% (↑)
- 13 BCG(ボストンコンサルティンググループ)6.47% (↓)
- 14 McKinsey & Company6.46% (マッキンゼー) (↓)
- 15 Microsoft(マイクロソフト)6.43% (↑)
- 16 KPMG*** (KPMG 会計事務所)6.39% (↓)
- 17 Total(トータル)6.36% (↑)
- 18 BNP Parisbas(BNP パリバ)6.32% (↓)
- 19 Deloitte(デロイト)6.14% (↑)
- 20 Disneyland Paris(ディズニーランドパリ)6.10% (↑)

理工系人気企業

- 1 EADS(ウ・アー・デー・エス) 20.28% (-)
- 2 Google(グーグル) 14.98% (-)
- 3 Thales(タレス) 12.92% (↑)
- 4 Dassault Aviation(ダッソー) 11.56% (↓)
- 5 Safran(サフラン) 11.51% (↑)
- 6 EDF(フランス電力) 11.02% (↓)
- 7 Total(トータル) 10.09% (-)
- 8 Vinci(ヴィンチ) 9.13% (-)
- 9 Apple(アップル) 8.66% (↑)
- 10 Microsoft(マイクロソフト) 7.65% (↑)
- 11 Air France(エールフランス) 7.40% (↑)
- 12 Dassault Systèmes(ダッソーシステムズ) (↑)
- 13 Veolia Environnement(ヴェオリア・アンヴィロヌモン) 7.01% (↓)
- 14 L'Oréal Group(ロレアル・グループ) 6.87% (↑)
- 15 BMW Group(BMW グループ) 6.64% (↑)
- 16 Bouygues Construction(ブイーグ・コンストラクション) 6.50% (↑)
- 17 LVMH(ルイ・ヴィトン・モエ・エ・シャンドン・ヘネシー) 6.47% (↑)
- 18 Areva(アレヴァ) 6.31% (↓)
- 19 Uvisoft(ユビソフト) 6.18% (↑)
- 20 Eiffage****(エイファージュ) 6.03% (↓)

*ロンドンを本拠地とし、会計・税務・アドバイザーサービスなどを世界で展開する会計事務所

**防衛・宇宙・安全保障を含む電機メーカー、2014年6月に Airbus Group と社名変更した。

米ボーイング社につぐ航空・宇宙産業、エアバス 100%親会社

防衛・航空・通信分野の複合企業体

***オランダを本部とし、会計・税務・アドバイザーサービスなどを世界展開する会計事務所

****Vinci、Bouygues につぐ、土木企業で、エッフェル塔、ミヨ橋(世界で地上から一番高い橋)を建てている。

・現代の学生はどのようにして就職先をみつけているか

2014年 Universum の調査によれば、就職活動で学生が使っているコミュニケーション手段の数は、経済商業系で平均 7.0、理工系で平均 6.2 となっている。SNS のひとつである Facebook の利用については合計 69%の回答は「とてもよい」、「よい」と好意的な意見であり、26%はそれほど好意的ではなく、5%はまったく反対の意見である。

・就職先を選ぶとき、もっとも注目する3つの判断基準

経済商業系では将来、給与が上がる見込みがあるか、将来のキャリアに好ましい経歴となるか、そして、野心に満ちてチャレンジングな仕事であるかを挙げており、理工系では快適に働くことができる雰囲気か、創造的でダイナミックな仕事環境か、そして野心に満ちてチャレンジングな仕事であるかを挙げている。

・初年度年収希望額

経済商業系では 34,780€(男子学生 37,276€、女子学生 32,880€)であり、理工系では 36,382€(男子学生 37,060€、女子学生 33,982€)である。

・キャリアで重視する点

経済商業系では仕事とプライベートのバランス、国際的なキャリア、そしてグループのリーダー、理工系では仕事とプライベートのバランス、物事を改善することに寄与しているという実感、そして知的な挑戦、あるいは競争に身を置いているか。

・希望分野

経済商業系ではモード・アクセサリー・ラグジュアリー関係、マネージメント・ストラテジーのコンサルタント、そしてメディアとパブリシティであり、理工系では航空宇宙と防衛、エネルギー、工業と生産分野となっている。

・職業人として社会に出るとき、国外を選択するか

経済商業系では26%が選択する、11%は選択しない、残り63%はそのときの条件に依存すると答え、理工系では21%が選択し、16%が選択しない、残り63%はそのときの条件に依存するとしている。

・従業員500人以下の中小企業への就職

経済商業系では39%が肯定的、理工系では41%が肯定的である。

・Le Monde “EADS, LVMH, Google...: les employeurs idéaux” (2014年4月2日)